

住民ボランティアによる『あおぞら会』（千葉県成田市）

- 住民ボランティアによる地域活動組織『あおぞら会』が高齢者の閉じこもりを予防することを目的に活動している。
- 発足時は市が『あおぞら会ボランティア』を育成したが、現在は会が自主的にボランティア仲間を増やしている。
- 住民ボランティアが企画運営し、市内5地区で活動を実施している。

地域活動組織『あおぞら会』

- ・リハビリ体操
- ・音楽療法
- ・手芸教室
- ・外出訓練
- ・地元園児や小学生との交流
- ・七夕・クリスマス・芋ほりといった季節行事

活動スローガン:

「出会い」「ふれ合い」「支え合い」



年1回、ボランティアや会員同士の交流を目的とした5地区合同『あおぞら会』を開催



天気の良い日は外へ出て、青空の下でゲームや体操をします。

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例

① 区町村名	成田市
② 人口（※１）	126,801人（平成24年3月現在）（ ）
③ 高齢化率（※１） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上（23,074人）高齢化率18.2%（ ） 75歳以上（10,836人）高齢化率8.5% （平成24年3月現在）
③ 取組の概要	高齢者の閉じこもりを予防するため、あおぞら会ボランティアが地域の高齢者に呼びかけ、月1回公民館等を集まり、リハビリ体操や季節の行事、地域住民との交流会等を実施する。
④ 組の特徴	会のスローガンは「出会い」「ふれあい」「支え合い」を掲げている。また、会員（高齢者）一人一人に担当のボランティアを決めて関わっている。会の活動は月に1回であるが、会員とは会の当日の関わりだけではなく、会の連絡や日常的な安否確認を含めたコミュニケーションを図っており、会員とボランティアの人間関係づくりを重視している。 地域の小学校、保育園、介護施設など社会との交流を深め、地域住民へ会の活動への理解、周知を図っている。 5地区合同でのあおぞら会を年1回実施し、他地区の会員やボランティアとの交流の場としている。
⑥ 開始年度	平成9年度
⑦ 取組のこれまでの経緯	平成9年度に寝たきりや閉じこもり予防を目的に“B型機能訓練”として発した。立ち上げ当初からボランティアが主体的に運営できるように働きかけた。介護保険制度開始後は“B型機能訓練”から“地域介護予防活動支援事業”として予算的な位置づけは変わったが、目的や事業展開の手法等は変わらず、現在は、地域に根差した活動が市内5地区で展開されている。
⑧ 主な利用者と人数	地域の高齢者 151名（平成24年度実績）
⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織	市 各地区あおぞら会ボランティア
⑩ 市区町村の関与（支援等）（※２）	市は事務局としている 予算758,000円
⑪ 国・都道府県の関与（支援等）（※３）	
⑫ 取組の課題	発足から10年経つ地区が多く、運営の中心的ボランティアの世代交代の時期にきている。ボランティアがスムーズに実施できるように、運営方法等改善していく必要がある。
⑬ 今後の取組予定	基本的な目的や事業展開は変えずに継続していく。 会員やボランティアの募集を継続して行っていく。
⑭ その他	
⑮ 担当部署及び連絡先	健康こども部健康増進課成人班 0476-27-1111